

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 14 週(2025/3/31~4/6) 感染症発生動向調査速報値 (2025/4/9 時点)】

定点医療機関※新規患者報告数: **89** 人、定点医療機関当たり **1.93** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点(小児科29定点、内科17定点)

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

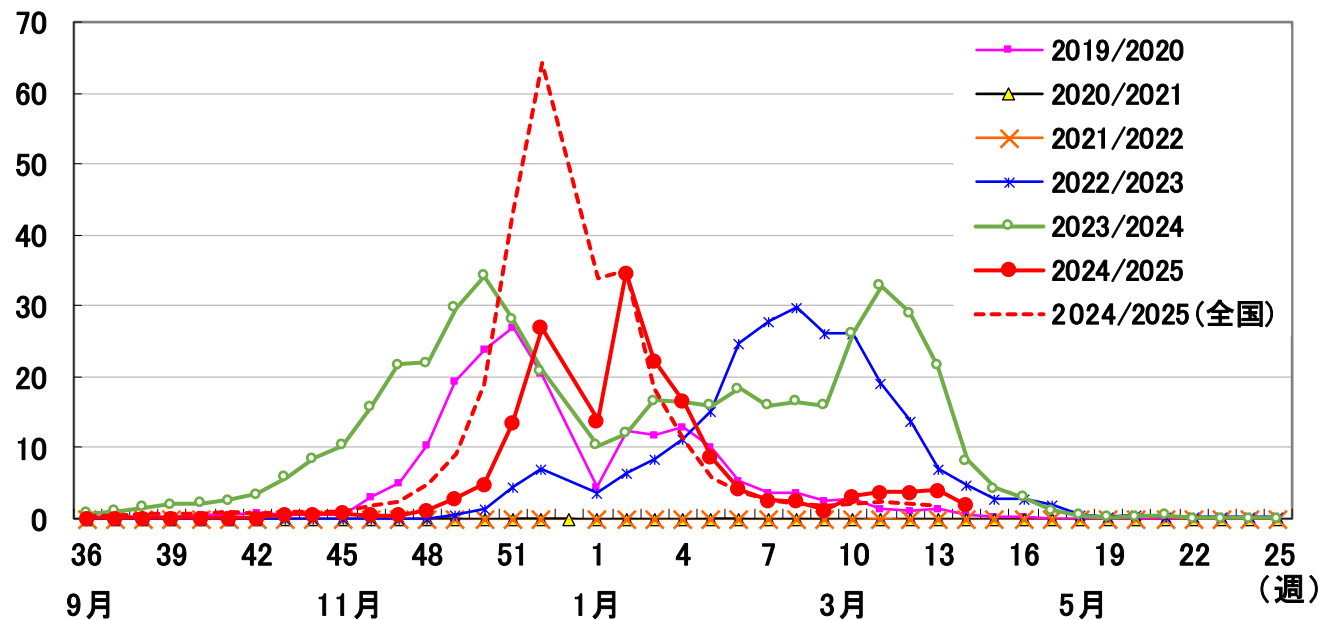
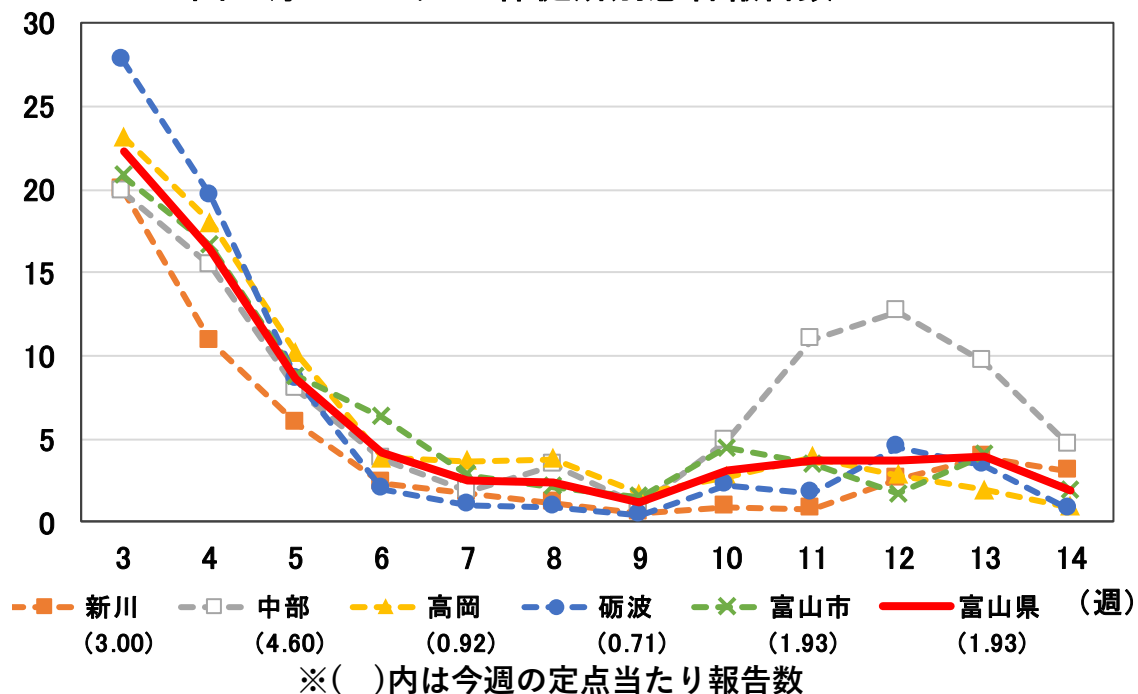


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数



- 富山県の患者報告数(図1)は今週1.93人/定点となり、先週(3.92人/定点)から減少した。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると(図2)、すべての管内で先週から減少した。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

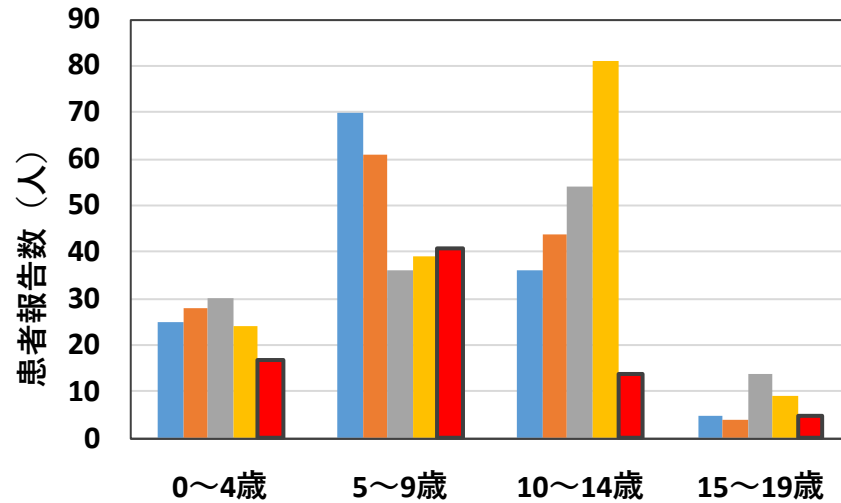
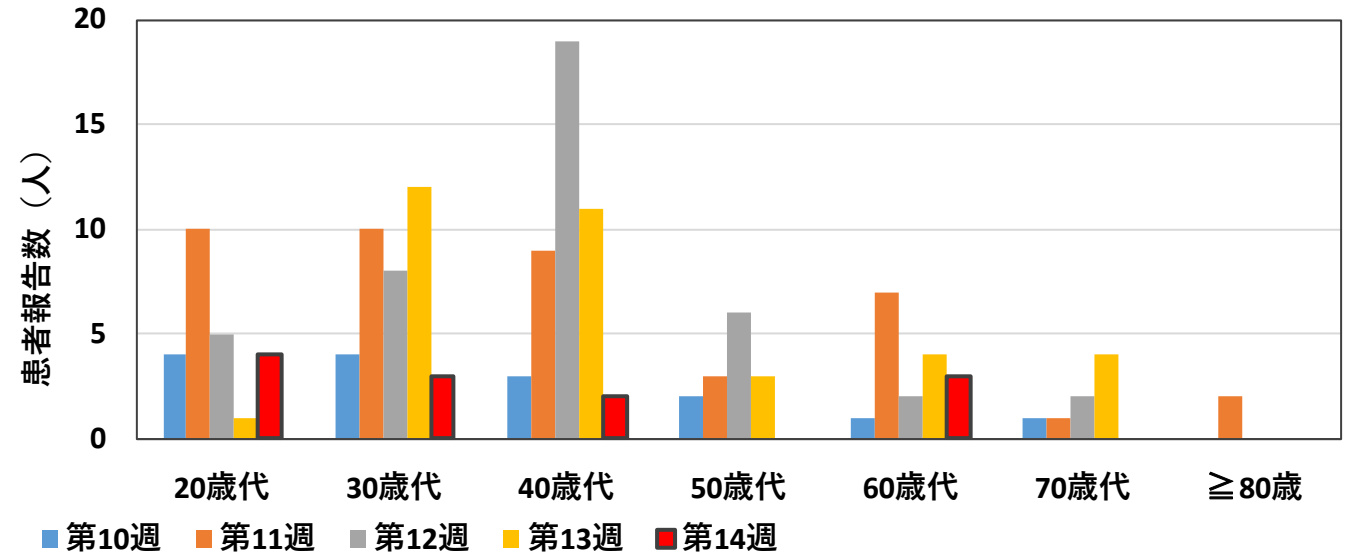


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：17定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 5～9歳、20歳代で先週から増加したが、その他の年代では減少した。特に、10～14歳、30歳代、40歳代で大幅に減少した。
- 但し、今週は報告があった定点医療機関数が通常（48定点）より2定点（内科2定点）少なく、データの解釈に注意が必要である。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第13週)

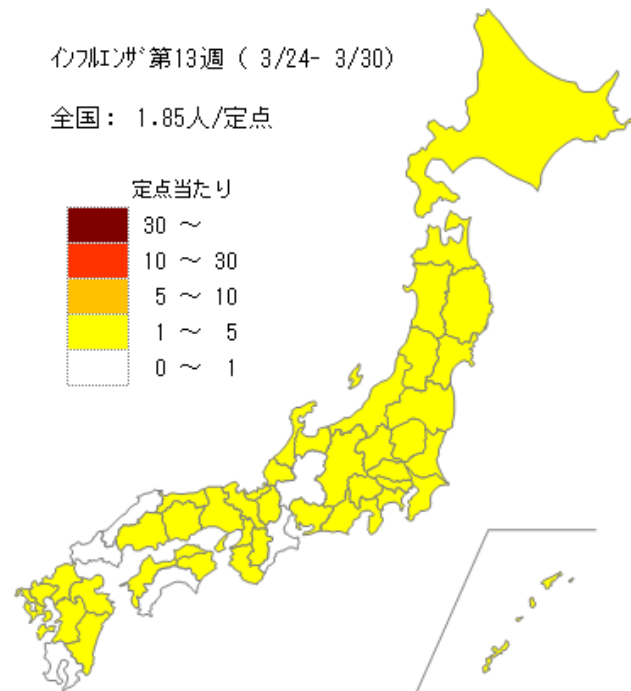
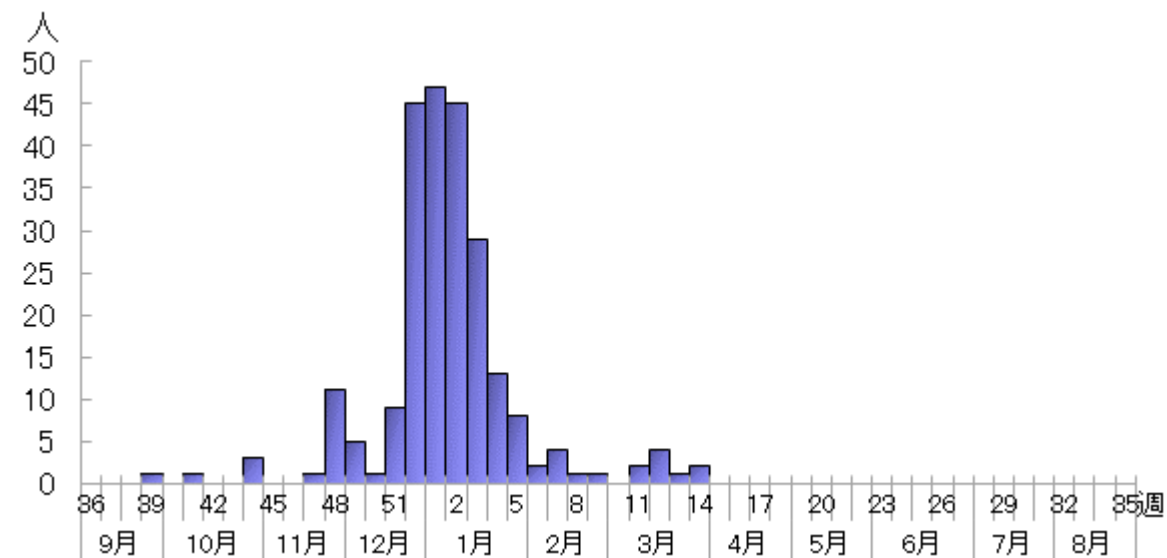


図5. インフルエンザ入院患者報告数(第14週)



- 全国では第13週に1.85人/定点となり、第12週（1.98）からやや減少した。都道府県別（図4）では、6県で流行入りの目安である1人/定点を下回った。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図5）では、今週（第14週）2例（共に80歳代）の報告があった。
- 第14週はインフルエンザ様疾患による学級及び学年閉鎖の報告はなく、春休みに入った影響と考えられた（[富山県インフルエンザ関連情報](#)）。
- 県内のインフルエンザ定点の患者報告数は、第10週以降、概ね横ばいで推移していたが、今週減少に転じた。今後、学校の再開にともない感染の増加が懸念される。引き続き発生動向を注視する必要がある。